

こどもの声は、未来の声
~Transforming Our World~

大口町 こども ワークショップ

NEWS LETTER ①



8月16日水曜日の午後、大口町の健康文化センター4階ほほえみホールで、第1回「大口町こどもワークショップ」を開催しました。この日は、48人の子どもの参加がありました。

まず、大口町役場こども課から「子どもの権利」について説明を聞いたあと、「ゲームで学ぼう！SDGs～ほしい未来は自分でつくる。」を実施しました。はじめに、動画やスライドで「SDGsって？」を学んだあと、チームでカードゲームに挑戦！

ゲーム後には、気づいたことをテーブルごとに話し合ったり振り返り、ゲームを通じて、自分の意識や行動が、じつは世界とつながっていること、自分ごととして動く人が増えれば世界が変わる＝未来は変えられることなどを実感しました！

こどもワークショップの初回は、楽しくてあっという間の3時間でしたね(^^)／

1 オープニング

まずはじめに、健康福祉部の小島部長より、あいさつがありました。

大口町は昨年、町政60周年になりました。これを機に、町では子どもの権利を守る「こども条例」の策定に取り組んでいます。

昨年度はちょうどみなさんぐらの年齢の方々を対象にアンケートをしました。今年は直接意見を聞くため、この「こどもワークショップ」を企画しました。1000人に招待状を送り、人が集まるか心配したのですが、あっという間に先着50人が集まりました。本当にありがとうございます。

今日はSDGsカードゲームを通じて、地球を守る、人と人との関係を学ぶ内容になっています。たくさん考えてたくさん学んで、楽しんでいただけたらと思います。

2 子どもの権利について

こども課の平子さんより、子どもの権利についてお話を聞きました。

子どもの権利は、みなさんが生まれながらに持っている権利です。子どもの権利は大きく分けて4つあります。「生きる権利」（住む場所や食べ物があり、病気になったら病院に行って医療を受けられるなどして命が守られる）、「育つ権利」（勉強したり遊んだりして持って生まれた能力を十分に伸ばしながら成長できる）、「守られる権利」（紛争に巻き込まれず、難民になったら保護され、暴力や搾取、有害な労働から守られる）、「参加する権利」（自由に意見を表したり、団体をつくらたりできる）。

昨年度子どもたちを対象におこなったアンケート調査では、悪口を言われたり仲間外れにされたりしない、安心して生きる、差別されない、愛されて幸せな生活を送る…など15の権利の中で、大事だと思う権利はどれかを聞きました。この中で誰も選ばなかったものはありませんでした。つまりこれらのすべての権利は、誰かが大切だと思っている権利なんです。自分の権利が守られると共に周りの友達の権利も守られなければいけません。大切だと思う権利は人それぞれ違います。それだけいろんな考えがあります。だから、大口町はみんなのアイデアをもらってこども条例をつくりたいと思っていますので、ぜひいろんなアイデアを聞かせてください！



3 SDGs とは～2030SDGs ゲーム

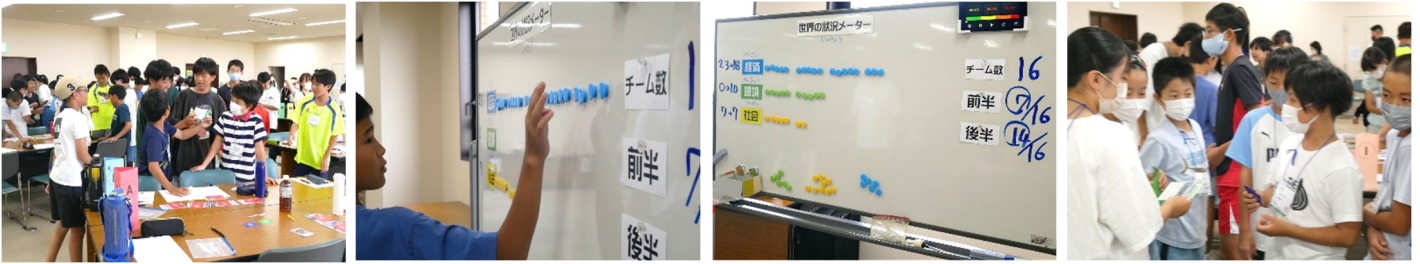


SDGs は… 持続可能な世界にしてい
くために国連が2016年～2030年の15年間で
達成する目標をさだめた行動計画。貧困・福
祉・教育・ジェンダー・まちづくり・気候変動
など…17のゴールの下には169の具体的なター
ゲットがあります。

- ★SDGs がなぜ必要なのか？
- ★SDGs があることでどんな可能性が生まれ
るか？を考えることが今日の目的です！

動画やスライドで「SDGs って？」を学んだあと、カードゲームに挑戦！
ゲームを通じて、自分の行動が世界とつながっていることを実感しました！

このゲームは？… 様々な価値観を持った人（チーム）が自分達のゴ
ールを達成するため、お金と時間を使いながらいろんなプロジェクトを進め、
その活動が世界にインパクトを与えます。「経済」「環境」「社会」の3つの
指標で表す世界の状況メーターを確認しながら、他のチームと交渉したり
協力しあって活動していくと…2030年とはどんな世界になるかな？



4 ふりかえり～「つながっている世界」

ゲームを通して気づいたことや、
現実の世界で活かそうなこと
について、一人ひとりで考えて、
意見交換したあと、進行役の
TAKEZO より、SDGs の本質
についての話を聞きました。

ポテトチップス、シャンプー…など、わたしたちが何気なく買っているものが、じつは森林
伐採につながっています。さらに森林伐採は、地球温暖化だけでなく、汚職、児童労働、
差別、貧富の差、テロなど、ほかの事ことにもつながっているんだね。SDGs の本質の1つ
は「世界はつながっている」そして「私も起点」ということ。もう1つは「見える化」
です。世界が目指す目標を「見える化」し、共有することによって行動が変わる。自分ご
ととして動く人が1人でも増えれば、世界が変わる！未来は変えられるんだね！



SDGs で学んだことは大口町のまちの未来を考えるときでも同じ！

まちづくりの心得は

①バックキャストイング

最初に目標とする未来像を描き、そのためにどうしたらいいか考えよう！

②人が動くのは「正しい」からでなく「オトク」だから

正しいだけでは人は動かない！相手にどんなトクがあるか考えよう！

③主語は「わたしたち」=こども！

自分が動けば世界が変わる！自分たちができることを次回考えよう！



進行役
TAKEZO



ひとこと アンケート より

SDGs は、国のえら人や頭のいい人たちが考えている
イメージがあって、遠い存在のように思えたけど、意外
と身近にあって、自分も何かできないか考える機会ができてよかった
／自分たちのことばかりを優先すると、環境が悪くなったりするから、
他の影響していることを全て考える必要がある／SDGs を知ってい
ても、行動しないと意味がない／意識をして行動すると、目標を達
成できる／自分たちが変われば世界が変わるとわかった／あまりに
も楽しくて、時間があっというまでした ほかにたくさん！

お問い合わせ NPO 法人まちねっと大口

TEL・FAX (0587) 22-6642

※月～土（祝日除く）9:00～17:00（12:00～13:00 除く）

✉ E-mail machinet@heart.ocn.ne.jp